

授業概要

産業組織論は資本主義経済における市場メカニズムを検討対象にしており、財・サービスの供給主体である企業・企業グループの市場行動や、それらが属する産業部門での行動原理が研究の対象である。

この授業では、資本主義経済の発展における市場メカニズムの変化に注目しながら、産業構造と企業行動との関りを検討する。とりわけ、競争と独占、産業構造と企業行動、政府規制と規制緩和、産業国有化と民営化などのテーマを取り上げ、電気事業や鉄道事業などにおける競争・独占・規制と市場メカニズムとの関連を明らかにしていきたい。

授業計画

第1回	授業の概要－産業組織論でなにを学ぶか－
第2回	資本主義経済と市場メカニズム
第3回	競争と独占
第4回	産業構造と企業行動
第5回	公益事業と政府規制
第6回	規制緩和・規制改革
第7回	電気事業における競争・独占・規制
第8回	電力自由化と原発・自然再生エネルギー
第9回	産業国有化と民営化
第10回	資本主義の発展と鉄道事業
第11回	交通市場と鉄道ルネッサンス
第12回	市場メカニズムと安全規制
第13回	大震災と交通市場の復旧
第14回	地域交通と市場メカニズム
第15回	授業のまとめ
第16回	筆記試験

到達目標

資本主義経済における市場競争と独占、電気事業や鉄道事業における競争・独占・規制、規制緩和と民営化について理解することができ、現状を知り、学ぶための方法を身に付けることができる。

履修上の注意

毎回出席し、授業内容を理解するよう努めること。そのことを通じて自らの判断基準を身に付けること。

予習・復習

事前に授業テーマに関わる資料を配布し、予習が可能になるようにする。また、配布資料で授業内容と関連する新聞・雑誌の記事・論稿、参考文献を指示し、復習しやすいようにする。

評価方法

毎回、授業の感想や理解度を確認するペーパーを書いてもらい、筆記試験の成績に加える(学期末試験80%、リアクションペーパー20%)。

テキスト

テキストは使用しない。毎回資料を配布する。授業の中で参考書等を指示する。